



2024年12月13日

各 位

会社名 株式会社イルグルム  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 岩田 進  
(コード番号：3690) 東証グロース  
問合せ先 執行役員 CAO 栢木 秀樹  
(TEL 06-4795-7500)

### 上場維持基準への適合に向けた計画

当社は、2024年9月30日時点において、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2024年9月30日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、時価総額については基準に適合しておりません。当社は、2025年9月末日までに上場維持基準への適合に向け、次のとおり各種取組を進めてまいります。

		時価総額
当社の適合状況	2024年9月末時点	3,839百万円 (不適合)
上 場 維 持 基 準		4,000百万円
計 画 期 間		2025年9月末まで

- (注) 1. 上表については、2024年10月17日付けで株式会社東京証券取引所から受領した書面「上場維持基準（時価総額基準）への適合状況について」に基づき、不適合項目のみを記載しております。
2. 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針

当社は、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準の適合に向け、「時価総額の向上」を基本方針といたします。「時価総額」の構成要素は、「発行済株式総数」と「株価（企業価値）」であることから、その対策として業績の向上及び安定化を図ることで「株価（企業価値）」を向上させ、上場維持基準に適合するよう目指してまいります。

#### 3. 上場維持基準の適合していない項目ごとの課題と取組内容

##### (1) 認識している課題

時価総額が基準値を下回っている理由につきましては、グロース市場が求める高い成長性の実現が継続できていないこと、及び成長性や将来性の理解を深めるための情報発信不足から株価低迷につながったと認識しております。

つきましては、時価総額の要素である株価の向上に向け、その要因となる事業成長の加速、及びIRや広報活動の強化を上場維持基準の適合に向けた課題とし、各種取組みを着実に進めてまいります。

## (2) 取組内容

### ①事業成長の加速

当社グループは、2024年11月6日に公表いたしました「2024年9月期 通期決算説明資料（事業計画及び成長可能性に関する事項）」に記載の通り、中期経営方針『VISION2027』の実現に向け、事業の柱であるコマース支援領域とマーケティングプロセス支援領域の2軸の成長ドライバーの伸長により、事業成長に取り組んでまいります。

コマース領域においては、顧客ニーズが高度化・多様化するeコマース市場において構築・運用フェーズを軸として集客・物流に至るまでEC事業者が直面する課題に対して支援サービスを提供し、確固たるポジションを確立することを成長戦略として掲げております。2024年8月5日付「ルビー・グループ株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、2024年9月30日付でルビー・グループ株式会社の全株式を取得（子会社化）したことにより、2025年9月期にはグループ連結として過去最高売上高を更新する見込みであり、また、顧客に対する垂直統合的なサービス提供を充実させることで、さらなる事業成長ができるものと考えております。

また、マーケティングプロセス領域においては、マーケティング活動を実施する企業がマーケティング施策の効果改善サイクルを回すことができる社会を実現し、マーケティングプロセス支援のパイオニアとして確固たるポジションを確立することを成長戦略として掲げております。既に進行期である2025年9月期において、新サービスのβ版を既存顧客に向けて提供を開始しており、下期での有償化を目指し推進してまいります。

これらの取り組みにより、事業成長を加速してまいります。

### ②IR活動の強化

当社は、適時開示以外にもプレスリリース等における企業情報の開示を随時行うことや、決算説明の動画配信を行うことで、IR活動及び広報活動の推進を行っております。今後につきましては、拡散力あるIRサービスの活用や任意的な企業情報の開示の強化など、今まで以上にIR活動及び広報活動を推進し、当社の事業内容、強みを含めた成長性、将来性の理解を深めるための情報発信に積極的に取り組んでまいります。

## (3) 目指すべき方向性

現段階におきまして、時価総額基準のみグロース市場の上場維持基準に適合しない状況にありますが、中長期的にはコーポレートガバナンスの強化や持続的な成長などを目的としたスタンダード市場への上場を視野に入れ、企業価値の向上を目指してまいります。

以 上